

下関地区（綾羅木郷遺跡）07.12.9（日）（曇）09:00～11:45

午前9時下関市立考古博物館駐車場集合して、綾羅木郷遺跡とその東丘陵地の古墳群の野鳥達を観察しました。この丘陵地域は住宅が少なく、エノキ等の大きい樹木が多いためか、冬の小鳥が多く、また珍しいビンズイ（写真右）まで見られました。また、下関北運動公園南の田付近には数百羽のミヤマガラス（写真下）が見られ、カラスザンショとハゼの実を食べているのを観察出来ました。現在調査中の仁馬山古墳の切り開かれた前方後円墳付近を探鳥して、その南の田園地帯に出ると縄張りに進入したとみられるカラスをチョウゲンボウが勇ましくアタックする光景に出会いました。その後、午後1時から下関リサイクルプラザで地区総会があり、来年の探鳥行事等について話し合いました。



観察できた野鳥（22種）アオサギ、トビ、チョウゲンボウ、キジバト、ビンズイ、ハクセキレイ、ツグミ、キクイタダキ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ホオジロ、シメ、カワラヒワ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、スズメ、ムドリ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス  
参加者：会員5名。



写真提供：下関地区会員T氏（無断転用を禁じます。）